

企画提案書①

1 有栖川宮記念公園に求められる役割の提案

公園等を取り巻く新たな動向や環境の変化、関連する法律の改正や区の上位関連計画、国及び都の取組、参考となる他自治体の先進的な取組などを踏まえ、有栖川宮記念公園に求められる役割を提案してください。提案に当たっては、グリーンインフラの視点を必ず含めること。

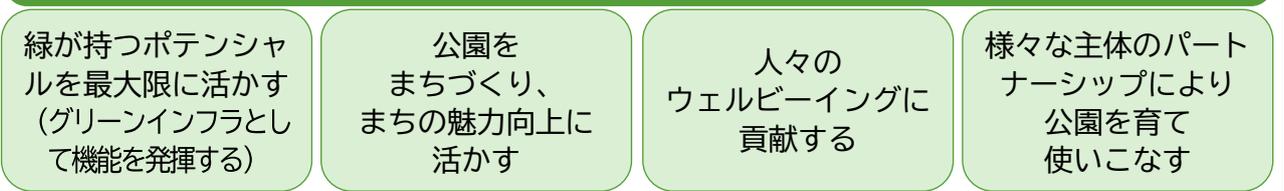
(1) 公園等を取り巻く動向等

平成28年に国土交通省が公表した『新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園等のあり方検討会』最終とりまとめ」と平成29年の都市公園法改正を機に、それまで量を増やす公園整備に重きが置かれてきた公園行政は、**公園というストックが持つ様々な効果を高め、活かすという新たなステージへと移行**しました。その流れは、令和4年に国土交通省が公表した「都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言」によって更に強化され、**地域の価値を高め続ける「使われ活きる公園」**をめざすべきという方向性が示されました。

この間に策定された東京都の「パークマネジメントマスタープラン」や「日比谷公園再生整備計画」、あるいは港区が策定した「港にぎわい公園づくり推進計画」も、こうした流れに沿ったものとなっており、次の共通する視点が盛り込まれています。

有栖川宮記念公園の今後を考える上でも、これらを踏まえて検討を進める必要があります。

公園等を取り巻く動向に共通する視点

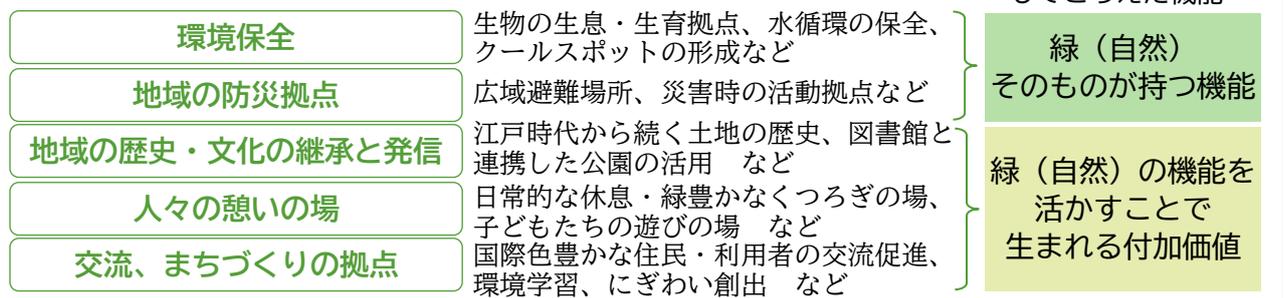


(2) 有栖川宮記念公園に求められる役割

江戸時代の南部藩下屋敷にルーツを持つ有栖川宮記念公園は、御用地を経て昭和9（1934）年に東京都に下賜され公園として開設されてから本年度で90年となる**歴史ある公園**です。

区立公園の中では最大となる面積6.7haの**緑の拠点**の一つであり、**都心の緑のネットワークの一翼**を担っています。園内には**広大な樹林地、池沼や湧水などの自然**が残され、**多くの生物**が生息・生育しています。また、都立中央図書館、麻布運動場、広場と児童コーナーなどの施設を擁し、**文化や健康増進、子どもたちの遊びの拠点**としての側面も持っています。さらに周辺に大使館が複数立地する環境も相まって、**国際色豊かな利用者層**も特徴の一つとなっています。

これらの特徴と、公園等を取り巻く動向に共通する視点、港区の上位関連計画における有栖川宮記念公園に関する記述を踏まえると、有栖川宮記念公園に求められる主要な役割は次のように整理され则认为します。これらをグリーンインフラとして有栖川宮記念公園が担う基本的な機能と捉え、高めていくことが重要であると考えます。(→補足資料)



グリーンインフラとしてとらえた機能

## 企画提案書②

## 2 有栖川宮記念公園における緑の魅力と課題の提案

有栖川宮記念公園の緑について、魅力と課題を提案してください。提案に当たっては、長期的な視点、利用者の視点、安全上の視点を必ず含めること。

## (1) 有栖川宮記念公園の緑の魅力

有栖川宮記念公園の緑の最大の魅力は、およそ**1世紀近くにわたり育まれてきた自然環境**にあると考えます。また、**豊かな緑が歴史資源や文化施設と一体となって存在することから生み出される風格や落ち着き**の感じられる空間、そこで思い思いの時間を過ごす**多様な利用者**も、有栖川宮記念公園を特徴づける緑の魅力です。

それぞれの魅力について、以下に主なポイントを示します。これらを公園の重要な資源として、長期的な視点に立って保全し、活かしていくことが重要であると考えます。

1世紀近くにわたり  
育まれてきた自然環境

樹林地・溪流・池沼など多様な生物生息・生育空間、貴重な湧水、大きく育った樹木、それらが形成する緑陰、地形の起伏や四季が生み出す多様な景観 など

緑と歴史資源・文化施設が  
生み出す風格や落ち着き

起伏に富む地形を生かしてつくられた日本庭園、用地を下賜した高松宮殿下も保存を望まれた古墳、都立中央図書館・新聞少年の像・笛吹き少年の像等の文化施設 など

多様な利用者

近隣の住民、近隣で働く人々、図書館・麻布運動場利用者、児童広場で遊ぶ各国の子どもたち など

## (2) 有栖川宮記念公園の緑の課題

有栖川宮記念公園の緑の課題は、前項に示した**緑の魅力を利用者の安全なども含め適切に維持・向上を図ること、またその魅力が十分に活かし切れていないこと**にあると考えます。加えて、広大な公園であり、かつ指定管理者が日常の管理を行う体制となっているにもかかわらず、**中長期的な管理運営の方向性を示す指針が存在しないこと**など、管理運営体制も大きな課題であると考えます。

それぞれの具体的な課題について、以下に示します。

## 課題1 自然環境の保全

- ・老齢化し、枯損・落枝・倒木等の危険がある樹木の適切な管理、更新
- ・樹林地、池沼等の生態系を考慮した維持管理、外来種対策
- ・集水域における雨水浸透促進も含めた湧水の保全 など

## 課題2 十分に活かされていない歴史資源・文化施設

- ・区への移管時の申し送り事項である日本庭園、古墳の保存（→補足資料）
- ・都立中央図書館、近接する麻布中高生プラザ等の施設と連携の乏しさ など

## 課題3 多様な利用者への配慮

- ・高低差のある地形を考慮した園内外のバリアフリーの確保
- ・多国籍な利用者に向けた情報発信、利用マナーの普及
- ・休息場所の充実に対する高いニーズ など

## 課題4 公園の魅力を活かす管理体制の不足

- ・中長期的な管理運営の方向性を示す指針の不在
- ・公園に関わる様々な主体のつながりの希薄さ

## 企画提案書③

## 3 有栖川宮記念公園の目指す将来像と緑に関する施策や手法、維持管理方法等の提案

有栖川宮記念公園の役割や魅力及び課題を踏まえ、長期的に風格ある豊かな緑を後世へ受け継いでいくための管理目標となる目指す将来像について提案してください。また、将来像を実現するための、緑に関する施策や手法、維持管理方法等について提案してください。

## (1) 目指す将来像の提案

## ① 将来像設定の考え方

有栖川宮記念公園は、児童福祉を目的とする遊び場に深い関心を寄せられていた高松宮殿下より昭和9(1934)年東京都に下賜され、同年公園として整備、開園した経緯があり、その後、昭和50(1975)年に管理が東京都から港区に移管され、現在に至ります。

将来像の設定にあたっては、現在に至る公園の歴史を踏まえたうえで、さらに発展させていくための共通の目標として、次の2つを「将来像」として設定します。

- ① 歴史的経緯・現況・これからのまちづくりを踏まえた長期的な公園づくりの理念  
② 開園から1世紀、区への移管から約60年の節目にあたる令和16(2034)年を中期目標に据えた将来イメージ

検討に当たっては、各調査により下表に示す事項を整理・分析し、理念、中期の将来イメージにつながる課題、キーワードを抽出します。

	調査・分析事項
上位関連計画	次の計画から公園の整備・管理運営、周辺地区のまちづくりの方向性に関する事項を整理し、課題、将来像のキーワードを抽出 [レビューする主な計画] 港区基本計画・地区版基本計画、街づくりマスタープラン、緑と水の総合計画、景観計画、環境基本計画、港にぎわい公園づくり推進計画 等
歴史的経緯	既存資料から、土地の由来、開園時の構想や整備計画、拡張・整備の経緯及び各段階でめざした公園像や公園の役割を整理 [使用する文献例] 港区史(通史編、資料編)、図説港区の歴史、東京公園文庫「有栖川宮記念公園」 等
公園の現況	既存の調査資料から、緑の資源(変遷含む)とその状態を整理するとともに、利用者・地域のニーズ、管理上の課題を分析 [使用する資料例] 港区史(自然編)、港区緑の実態調査、港区生物現況調査、池の生物調査、樹木診断結果、公園等利用実態調査、指定管理者へのヒアリング 等

## ② 将来像の提案

将来像については、上記に挙げた調査を通じて必要事項を精査する必要がありますが、主要な資料を概括した結果を踏まえ、現時点で想定される将来像の案を以下に示します。

## &lt;長期的な公園づくりの理念(案)&gt;

100年の自然と歴史を次代に紡ぐ 温故知新の公園づくり

## &lt;開園100年を見据えた中期目標(案)&gt;

- 豊かな自然を育む公園 …豊かな緑と水の環境、生物生息環境を保全、継承する
- 歴史を受け継ぎ文化を育む公園…歴史・文化資源を継承し、活かす
- 人のつながりを育む公園 …安心して利用できる環境をつくり、人々の交流の場を生み出す
- まちなぎわいを育む公園 …麻布地区、港区の拠点公園の一つとして地域の魅力向上につなげる

## (2) 将来像を実現するための施策や手法

### ①緑に関する施策や手法

企画提案書②に示した緑の魅力と課題及び前項に示した将来像の提案を踏まえ、実現のために考えられる施策・手法の例を以下に示します。

#### ○豊かな自然を育む公園に関する施策・手法（例）

- 庭園を含む樹木管理・保全方針の作成と老齢木・植栽等の計画的な更新
- 生態系に配慮した維持管理と定期的なモニタリング
- 池をはじめとする外来種対策
- 自然を学び・体験する機会の充実

#### ○歴史を受け継ぎ文化を育む公園に関する施策・手法（例）

- 歴史資源・文化資源の保存計画の検討及び利用者に向けた情報発信
- 都立中央図書館との連携（図書館と一体となった利用者が憩える空間づくり、図書館と連携した公園の活用など）

#### ○人のつながりを育む公園に関する施策・手法（例）

- ユニバーサルデザインの推進（園内のバリアフリールート確保、施設の整備・改修時の配慮、多言語対応・ピクトグラムの活用等）
- 安全・安心な利用環境づくり（施設の計画的な更新、防犯対策等）
- ベンチ等の休息場所の充実

#### ○まちなぎわいを育む公園に関する施策・手法（例）

- 近隣の施設、地域のまちづくりに関わる組織と連携した公園の活用
- 有栖川宮記念公園に関わる様々なステークホルダー※による推進体制の確立  
※区（土木課・支所・環境課等の関連組織）、指定管理者、園内施設・周辺施設の管理者、地域の代表（町会、商店街等）や公園の利活用に関わる組織等
- 防災拠点としての機能向上（災害時の利用を想定した施設改修等）

### ②維持管理方法

「①緑に関する施策や手法」に挙げた内容のうち、実務的に特に重要であり、継続性をもって取り組む必要がある自然（緑）の維持管理について検討が必要と考えられる事項を以下に示します。

検討に当たっては、既存資料やヒアリング等をもとに現在区及び指定管理者が行っている維持管理内容を把握した上で、具体策を検討するものとします。

#### ア ゾーンごとの植栽目標像の設定と順応的管理

園内の環境特性に応じたゾーンを設定し、それぞれについて植栽の管理目標を設定する。また、環境課や専門家等と連携して定期的に生物相のモニタリングを行い、維持管理に反映する順応的管理に取り組む。

#### イ 樹木、植栽及び維持管理履歴のデータベース化

指定管理者が交代した場合でも、情報を適切に引き継ぎ、樹木等が適正に管理されるよう、植栽位置、樹種、樹勢、管理履歴等の情報をデータベース化する。

#### ウ 計画的な樹木の更新

利用者の安全確保や利用環境を考慮した園内外の施設整備のために伐採が避けられない樹木が発生した場合の対応方針を明文化した上で、診断の結果、特にリスクの高い老齢木や病虫害により樹勢が衰えた樹木の再生・更新計画を立て、対外的に伐採等の理由を丁寧な説明をしながら実行する。